

令和7年1月29日

## 教員の公募について（依頼）

1. 募集職名・人員：助教（テニュアトラック）・1名（付記1参照）
2. 所属：（雇入れ直後）北海道大学 大学院農学研究院 基盤研究部門 応用生命科学分野（植物育種学研究室）（付記2参照）  
（変更の範囲）大学の定める場所
3. 職務内容：（雇入れ直後）大学院農学研究院、大学院農学院及び農学部に係る教育研究業務  
（変更の範囲）大学の定める業務
4. 担当科目：大学院農学院および農学部における専門分野に関する講義、実験、演習、実習科目および全学教育科目など（付記3参照）
5. 応募資格
  - 1) 博士の学位を有するか、採用予定日までに取得見込みであること。
  - 2) 植物の品種改良を目的とした分野で、特に高緯度の冷涼で日長の変化が大きい環境に適応する作物に関して、その遺伝育種学的な研究業績を有すること。また、当該研究室に所属する大学院生、学部学生の研究指導を日本語および英語で行う能力を有すること。（付記2参照）
  - 3) 当該研究室で担当する科目に関連した教育指導を日本語および英語で行う能力を有すること。（付記3、4参照）
  - 4) 採用予定日に着任できること。
6. 応募書類（各2部、ただし4）はPDFファイルを1部）
  - 1) 履歴書（所定の様式）※
  - 2) 研究業績目録（所定の様式）※
  - 3) 研究業績内容の分類とその要約（自らの研究業績を踏まえ、業績番号を引用する形式で作成して下さい。日本語で1,000字程度または英語で800語程度）
  - 4) 学術論文（研究業績目録(1)のうち審査制度のある学術論文）すべての別刷（「2）研究業績目録」に対応した名称のPDFファイルを、USBメモリ等の電子媒体に収録して提出）
  - 5) これまでの教育指導経験（英語での教育指導経験を含む）と着任後の教育に対する抱負（日本語で1,000字程度または英語で800語程度）
  - 6) 着任後の研究の内容とそれに対する抱負（日本語で1,500字程度または英語で1,200語程度）
  - 7) 応募者についての照会が可能な方2名の連絡先（氏名、所属、電話、E-mailアドレス）

※履歴書および研究業績目録の様式については、本研究院HPより取得してください。  
（本研究院HP）<https://www.agr.hokudai.ac.jp/i/subscription>

なお、候補者を選考する過程で候補者に対する面接などを行うことがあります。ただし、面接にかかる旅費等は支給しません。また、原則として応募書類は返却いたしません。応募書類を本目的以外に使用することはありません。

7. 応募期限 令和7年3月11日（必着）

8. 任用予定日 令和7年7月1日

9. 応募書類提出先

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

北海道大学 大学院農学研究院

人事委員会 委員長 久保 友彦

Tel: 011-706-3350（農学・食資源学事務部人事担当）

書類は、封筒に『応用生命科学分野（植物育種学研究室）助教応募』と朱書の上、簡易書留またはそれに準ずる方法でお送り下さい。

10. 問い合わせ先

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

北海道大学 大学院農学研究院 基盤研究部門

応用生命科学分野 尾之内 均（分野主任）

Tel: 011-706-3841 E-mail: onouchi@agr.hokudai.ac.jp

11. 待遇

1) 試用期間 あり（3ヶ月）

2) 給 与 国立大学法人北海道大学  
年俸制教員給与規程による

3) 勤務形態 同意に基づく専門業務型裁量労働制または固定労働時間制を適用  
国立大学法人北海道大学職員労働時間、休憩、休日及び休暇規程による  
専門業務型裁量労働制の場合：1日に7時間45分労働したとみなす  
固定労働時間制の場合：勤務時間 8時30分～17時00分  
休憩時間 12時15分～13時00分  
時間外労働 有

4) 健康保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、労災保険、雇用保険加入

12. 募集者の名称 国立大学法人 北海道大学

13. 受動喫煙防止措置の状況 特定屋外喫煙場所を除き、敷地内禁煙

14. その他

北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の積極的な推進に努めております。また、教育・研究活動と生活の両立支援、能力発揮・活躍環境整備も積極的に進めています。取り組みの詳細は、以下のウェブサイトを参照してください。

(URL : <https://www.dei.hokudai.ac.jp/>)

## 付 記

1. 助教の任期は5年とし、審査により再任可能です。再任の任期は5年とし、1回を限度とします。なお、任期満了までにテニユア審査を経て、任期の定めのない助教となることが可能です。テニユア審査は再任後にも受けることができます。
2. 本公募は、北海道大学 大学院農学研究院 基盤研究部門 応用生命科学分野に所属する6研究室の中の植物育種学研究室の助教を対象にしています。植物育種学研究室では、作物（主に水稻）を用いて、高緯度地域や寒冷地への適応機構、種間雑種の生殖隔離機構とその打破、効率的な交雑育種を推進する遺伝的改良、倍数体の育種利用、また、数理解析法を用いた植物の発生モデルの構築、などの研究を行なっています。本公募では、わが国の農業生産の拠点である北海道という特色を活かした作物の育種に精通し、関連した研究を国際的に推進できる能力と経験を有するとともに、研究に参画する学部学生・大学院生の教育・指導を行うことができる方を求めます。
3. 植物育種学研究室では、下記の科目を担当しており、本公募の助教にはこれらの科目の一部を単独でまたは分担して担当していただく予定です。
  - ① 大学院農学院における科目  
農学研究Ⅰ・Ⅱ、農学演習Ⅰ・Ⅱ、農業植物科学特論、農業植物科学特論演習、農業生物学特論、農業生物学特論演習など
  - ② 農学部における科目  
基礎遺伝学、植物育種学Ⅰ・Ⅱ、応用生命科学概論、応用生命科学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、生物学実験、卒業論文など
  - ③ 全学教育における科目  
総合科目など
4. 植物育種学研究室は「The Global Education Program for AgriScience Frontiers」（英語特別コース）に参加しており、本公募の助教にはこのプログラムに参加する大学院生（主に留学生）に対して英語による教育研究指導を行う能力が求められます。